

第11弾

桑名市総合医療センターが まもなく完成します！

シリーズ

伸びゆくまち

・桑名

桑名のまちづくりが進んでいく様子を
シリーズ化してお伝えしていきます。

平成30年4月開院予定！

新入院棟建設中

桑名市民病院とその分院（旧平田循環器病院）、そして山本総合病院が統合し、桑名市総合医療センターが平成24年4月に設立されました。その後、桑名東、西、南の各医療センターは、地域にしっかり根をおろし、職員が一丸となって診療活動を続けてきました。平成30年4月に開院予定の新病院では、地域の中核病院として「救急医療」、「周産期医療」、「小児医療」の3つの機能と、「がん診療」、「脳卒中や急性心筋梗塞などの急性疾患」への対応に力を入れて、地域の医療を支えます。

これからも地域のみなさんが安心して暮らせるように、地域に求められる最適な医療を実践します。今回はそんな新病院を5つにわけて紹介します。

① 新病院の概要

新病院が完成すると一般病床が321床（改修棟含め400床）、血液・腫瘍内科などが10科新設され診療科目29科となる予定です。桑名市だけでなく、桑員地域における中核病院として、急性期医療および高度医療の対応も可能になります。

診療科（予定）

総合内科	皮膚科	麻酔科	循環器内科	糖尿病内分泌内科
神経内科	腎臓内科	産婦人科	呼吸器内科	心臓血管外科
小児科	精神科	放射線科	呼吸器外科	消化器・肝臓内科
外科	歯科口腔外科	整形外科	脳神経外科	リウマチ膠原病内科
眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	消化器外科	血液・腫瘍内科
救急科	乳腺外科	総合診療科	リハビリテーション科	

④ 病室モデルーム

今年1月に個室と4人部屋のモデルームが設置され病院関係者が検証しました。

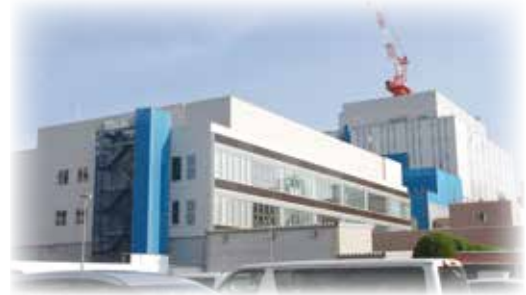
車いすが動きやすい広い通路や、ベッド、日用品が収納できる引き出しや戸棚が付いた床頭台しょうとうだいなどの備品が配置され、全てのスタッフが、配置された備品などを実際に使いやすく居心地の良い空間になるよう確認しました。



② 新入院棟・新外来棟

新病院は新入院棟と新外来棟からなり、新入院棟は新病院が力を入れる救急医療、小児医療、がん診療などの機能が3階から5階にかけて配置されます。

新外来棟は3・4階が診療スペースになります。災害時にも医療機能を維持するため新入院棟、新外来棟とも1・2階が駐車場となり、3階以上に医療機能が配置されます。



新外来棟

⑤ ホスピタル・スパイン

ホスピタル・スパインとは病院全体の骨格を形成する連絡通路で、新入院棟と新外来棟を結ぶ上空通路もホスピタル・スパインの一部です。

このホスピタル・スパインを3、4階に設置することで新入院棟と新外来棟を一体的に利用することが可能となり、災害時にも救急や中央診療機能を維持することができます。



完成イメージ

③ エントランスなど

エントランスホールには総合窓口が設置され、明るく行く先のわかりやすい環境が整備されます。

また、既存建物の改修後、24時間対応の院内保育所、当直室などが設置される予定で、職員一人ひとりのモチベーションが高まる働きやすい環境が整えられ、スタッフが働きやすくなることで、より良い医療を届けることができます。



完成イメージ

【工事の状況】

新外来棟は外装工事が終了し、現在、内装工事が行われており9割程度工事が完成しています。今後は設備、内装仕上工事が行われます。

新入院棟は11月中旬ごろに外装工事が、12月中旬までに設備、内装仕上工事が完成し、新外来棟とともに平成30年1月の引き渡しをめざしています。

両棟とも平成30年2月から3月にかけてベッドなどの医療設備や事務機器の搬入を行い、平成30年4月の開院にむけて準備を進めていきます。

問 地域医療課 (☎ 24-0562 FAX 24-3032) または、桑名市総合医療センター (☎ 22-1211 FAX 22-9498)